

## Press Release

2013年8月7日  
メドピア株式会社

### 「病院内の抗菌薬の届出制」について 57%が、届出制があると回答

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」(メドピア、<https://medpeer.jp/>) を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽 (医師)>は、会員医師を対象に「病院内の抗菌薬の届出制」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

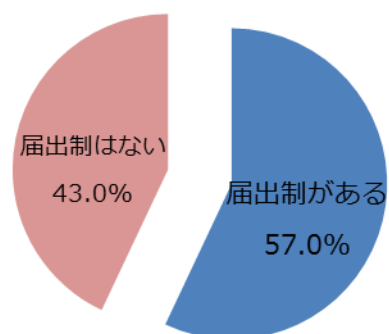
医師専門サイトMedPeer調査結果：「病院内の抗菌薬の届出制」について (総回答：3,211人)

順位	回答	回答数 (人)	占有率
1	届出制がある	1,831	57.0%
2	届出制はない	1,380	43.0%
-	合計	3,211	100.0%

#### サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer (メドピア) に登録する医師 (6万人以上) を対象に「**病院内に抗菌薬の届出制はありますか?**」という質問をしたところ、**3,211**件の回答が寄せられた。
- 「届出制がある」という回答が57.0%という結果となった。「届け出さえできれば自由に使える状況」「形だけの様な感じ」「届出をしない医師もいる」というコメントがある一方、「手続きを踏まないと薬局から払い出してもらえない」「必要事項を入力しないとオーダーが完了しない」といったシステムもあり、管理体制に幅がある。1週間~2週間と、使用期間を決めている例もあった。また、「乱用を防ぐためには有効」「院内耐性菌の発現が減少した」というコメントもみられた。
- 「届出制はない」と回答したのは43.0%。個人のクリニック、無床診療所が多い。「そもそも抗生剤を使う機会が少ない」「各医師の裁量で使用している」というコメントもあった。

## ▼総合結果



n=3,211 MedPeer調べ

### 回答コメント（回答一部を抜粋）

#### 「届出制がある」 1,831件

- ・カルバペネム系と抗 MRSA 薬は特定抗菌薬適正使用のため届ける必要があります。(60 代、脳神経外科)
- ・結局使用が届け出制のない薬剤に偏るのでその薬剤への耐性菌が出てきています。(40 代、循環器内科)
- ・セフェム系第四世代とか、バンコマイシンとか、いくつか届け出制になっています。抗生剤の乱用を防ぐ効果はあると思います。(50 代、整形外科・スポーツ医学)
- ・抗菌薬を使用すると簡単に届けています。全ての点滴静注用抗菌薬が該当します。(40 代、泌尿器科)
- ・数年前からあります。そしてあまり長期に使ったり、培養が出されていなかったり、根拠がなかったりすると、感染予防委員より指示がでます。(30 代、循環器内科)
- ・広域スペクトラムの抗菌薬使用の際には培養結果等、エビデンスも含め、試用期間の届け出義務がある。(40 代、一般内科)
- ・抗 MRSA 薬は、使用届で、診断、用量、予定試用期間の届出の記入が必要です。(50 代、一般内科)
- ・特定抗菌薬を届け出制にしてから、院内耐性菌の発現が減少しました。(40 代、泌尿器科)
- ・抗 MRA 製剤、カルバペネム製剤、抗真菌剤注射剤はすべて届出性です。耐性菌を作らないためと高コスト製剤の抑制のため。(50 代、一般内科)
- ・一応抗 MRSA 薬は届出制になっていますが、主治医が使うといえば特に制約なく使用されています。(50 代、放射線科)
- ・あります。ただ本来の意図のように機能していません。ただ、特定の薬の処方を面倒にすることによって、乱用を少し減らす、ぐらいの効果しかないように思います。(40 代、一般内科)
- ・抗 MRSA 薬全てと院内採用のカルバペネム系抗菌薬で抗緑膿菌活性を有するドリペネム・メロペネムが届け出薬となっています。(50 代、呼吸器内科)
- ・電子カルテのポップアップで登録画面が出てきて、登録しないとオーダーできません。(30 代、脳神経外科)
- ・第三代セフェム、カルバペネム、グリコペプチド系は届け出となっています。(40 代、循環器内科)

- ・近隣の病院との感染症合同カンファランスで、最近、届出制となった。(50代、一般内科)
- ・抗 MRSA 薬、ペネム系抗生剤などは届け出のうえ、原則 2 週間までの投与となっています。(40代、小児科)
- ・バンコマイシンなどと、カルバペネム系はあります。めんどくさいですが、届出制になってから、耐性菌はかなり減りました。(30代、循環器内科)
- ・ペネムは全例許可制です。おかげで、耐性緑膿菌はほぼいません。(30代、救急医療科)
- ・カルバペナム、抗 MRSA 剤、第 4 世代セフェムなど許可制です。しかし、緊急と称して後からの届出が多く、有名無実になっています。(70代、代謝・内分泌科)
- ・キノロン、カルバペネム、抗 MRSA 薬についてはありますが、届け出さえできれば自由に使える状況です。(30代、腎臓内科・透析)
- ・抗 MRSA 薬とカルバペネムは届出が必要です。内科系の科が何かに付けてカルバペネムを長期間使用し続けるため、感染症科が規制をかけ、更に 1 週間以上使用する場合は、コンサルトが必要となりました。(40代、循環器外科)
- ・耐性菌予防のため、カルバペネム系、MRSA 関連薬などの抗生剤使用は許可制です。(50代、循環器内科)
- ・抗 MRSA 製剤、ペネム系は届け出制で、手続きを踏まないと薬局から払い出してもらえません。(50代、小児科)

## 「届出制はない」 1,380件

- ・主治医の考えで使用するのみで届出制は特にありません。(50代、一般内科)
- ・開業医なので届出制の必要は感じません。(50代、整形外科・スポーツ医学)
- ・届け出制にしている病院がある、ということすら知りませんでした。(40代、一般内科)
- ・ただし月に一回、部長会議で抗生物質の使用状況と耐性菌の状況が報告される(50代、脳神経外科)
- ・制度はありませんが、感染委員会で抗菌薬使用例を検討しています。(50代、脳神経外科)
- ・届出制はないが、薬剤部から定期的の使用状況のまとめが公表されている。(70代、脳神経外科)
- ・診療所勤務です。処方する機会が非常に少ないため、特にありません。(40代、一般内科)
- ・診療所なので特に規定は設けていない。しかし自己導尿をしている方などの尿中細菌については定期的に細菌培養を行い抗菌薬の耐性化に留意している。(50代、一般内科)
- ・精神科病院なので、それほど抗生剤も使いません。(30代、精神科)
- ・外来クリニックですが、採用薬剤(抗生剤・抗菌剤)もわずかで、届出制は設けていません。(50代、循環器内科)
- ・入院中心の老人病院で、届けはありませんが、月 1 回検出菌の報告があります。発熱すれば、熱冷ましのように抗生剤が処方されます。ゆっくりと耐性菌が増えているようです。どうにかならないものか。(50代、一般内科)
- ・すべて主治医の裁量に任されている。躊躇なく使用する医師もいる。(50代、総合診療)
- ・個別に届け出る必要はないですが、カルバペネム系や抗 MRSA 薬は処方日数が常時監視されています。(40代、皮膚科)
- ・使った医師からの届け出の必要はありません。月内の部署別の使用抗生剤量の報告が薬剤部から毎月あります。電カルになってそのようなデータの管理が容易になったのに、いちいち報告させるのは無駄でナンセンスだと感じます。(50代、消化器外科)
- ・カルバペネム系などの一部の高価な薬剤については、感染対策委員長の許可が必要です。(50代、放射線科)

## ・ ※調査方法

### □期間：

2013年7月3日（水）～ 2013年7月9日（火）

### □有効回答：

3,211人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

### □設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

### 調査フォーム（設問文 抜粋）

特定の抗菌薬（抗MRSA薬、カルバペネム系など）を届出制にすることで、抗菌薬の適正使用を図っている病院が増えていると思います。

皆さまの病院における抗菌薬の届出制はいかがでしょうか。

以下の選択肢からご選択いただき、その理由をコメントにご記入ください。

1. 届出制がある
2. 届出制はない

### 【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：info@medpeer.co.jp

### 【記事掲載に際してのお願い】

- ・ 「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・ web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

## ■ MedPeer（メドピア）とは - 2013年7月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL：<https://medpeer.jp/>）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、「臨床の決め手がみつかるサイト」として、多くの医師に利用されています。現在の会員は6万人以上で、日本の医師の約4人に1人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約1,700の医療用医薬品に対して、25万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上